

R5.6.30 第2回市民ワークショップ<つるおか未来カフェ>(まとめ)

目的

第2次鶴岡市総合計画の中間見直しに当たり、本市の現状や課題等を参加者で学び理解を深めるとともに、市民の多様な考えや意向等を伺いながら、計画策定の参考とすることを目的に市民ワークショップを開催。

今回は、小堅地内にある住宅をリノベーションし、2020年3月に移住体験シェアハウスとして完成した「シェアハウス&キッチンこがたん。」で本市の移住・定住の現状、シェアハウスの取組を紹介。移住者を増やすためのアイデアを出し合いました。

開催概要

日時：令和5年6月30日（金）16時00分から18時00分

場所：「シェアハウス&キッチンこがたん。」（小堅地内）

参加者：建設業専門家、東北公益文科大学学生、地元自治会関係者 など16名

講師及びファシリテーター：東北公益文科大学 学長補佐 准教授 鎌田 剛先生（鶴岡市総合計画審議会厚生専門委員会委員長）

：「シェアハウス&キッチンこがたん。」元入居者 穴戸 亜紀子さん

内容：「シェアハウス&キッチンこがたん。」の所有者である鎌田剛先生の取組紹介、元入居者の穴戸亜紀子さんの移住・入居生活の紹介後、参加者が6グループに分かれ、自分が面白いと思うアイデアを出し合った。

テーマ：移住者を増やすための魅力的なアイデア



R5.6.30 第2回市民ワークショップ<つるおか未来カフェ>(まとめ)

意見概要

テーマ:移住者を増やすための魅力的なアイデア

<アイデア>

タイトル:『わたしをもてなして』

- ・空き家を利活用した宿泊先を作り、そこに滞在してもらい、地元の人達のおいしい料理で接待してもらう。
- ・滞在先でアルバイトをできるような仕組みがあると良い。
- ・地区に来た方の送迎を地元住民がサポートする。

タイトル:『釣って、つくって、食べて』

- ・地域の人と一緒に釣りができるイベントを実施し、そのまま滞在施設で料理教室を行い、料理を食べたりお酒を飲んだりする。
- ・釣りの道具や船を地元の人が準備する。
- ・魚のさばき方など、料理教室は地元の人が主催する。

タイトル:『ととのうキャンプ場をつくろう!』

- ・海が近いので、魚釣りなどをして自給自足で生活するキャンプ場を作る。
- ・キャンプ場の隣にサウナを設置し、キャンプと同時に楽しめるようにする。
- ・サウナの設置費用はクラウドファンディングで調達する。

タイトル:『海からはじめるまちづくり』

- ・海上にアスレチック施設を作り、利用料で資金を得る。
- ・貝採り体験場を併設する。
- ・屋台や飲食店も設置。
- ・イベントなどを通じ関係人口を増やしていく。

タイトル:『仕事づくり』

- ・移住の前提として、仕事を作ること・続けられることが重要。
- ・きれいな景色、自然をインスタやyoutubeをフル活用しPRすることが重要。
- ・カメラ好きな人をターゲットにして、移住した人からユーチューバーになってもらう。季節バイトの紹介やその作業風景も写真で発信してもらう。

タイトル:『旅するように暮らす』

- ・ネット環境が整備された場所でお試し移住をできるようにする。
- ・地区運動会、山菜とり、釣りなどに参加し、地域の人と交流を図る。
- ・実際に住む際に、仕事の斡旋や地域のバックアップが重要。

「シェアハウス&キッチンこがたん」

外観

リノベーションされた内部



【意見のまとめ】

- ・訪れた人に、地元の人との触れ合いや、自然や食などを実際に体験してもらい、魅力を感じてもらうことが重要。
- ・移住する上では、「仕事」と「住まい」と「交通(移動手段)」の確保が重要。